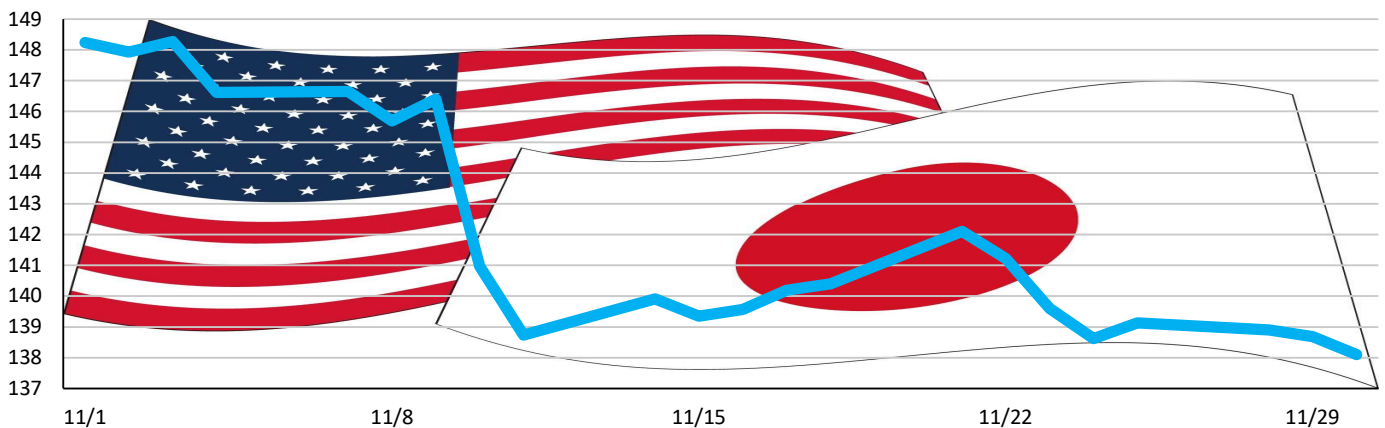


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 11月のドル円相場は148円後半～137円半ばで推移。注目された米FOMCで予想通りの0.75%利上げ後に、材料出尽くし感から一旦ドル売りで反応したものの、パウエル米FRB議長が会見で利上げ継続姿勢を示唆したことですぐに買い戻された。しかし米消費者物価指数が市場予想を下回り、米利上げペースが鈍化すると受け止められ一気にドル売りとなり、さらに米卸売物価指数も市場予想を下回ったことからドル売りに歯止めがかからず、ドル円は約3ヵ月ぶりの137円台に暴落。その後は良好な米小売売上高やブレイナード米FRB副議長のハト派発言などに支えられドル買いが続いたが、公表された米FOMC議事録でハイペースでの利上げが減速する見方が優勢となり、再びドル売りとなる荒い値動き。月末にかけては138円台を中心に売り買いが交錯したが、パウエル米FRB議長が講演で利上げペース縮小の見方を示したことを引き金にドル売りとなった。

(円)

米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: FRBのハイペースな利上げを背景にドル買いが続いていたが、利上げペース縮小が濃厚となってきていることから、ドル売りが進みやすい地合いとなっている。ただ利上げを継続することを踏まえると、今後の米経済指標発表内容次第では大きく乱高下する可能性もある。15日未明の米FOMC結果次第ではあるが、年末年始の薄商いも考慮しながら対応していきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
12 / 15 (木)	22 : 15	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
12 / 15 (木)	22 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
12 / 20 (火)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
12 / 22 (木)	22 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
12 / 24 (土)	0 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
1 / 6 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
1 / 12 (木)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。